

令和5年6月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

(単位：人泊、%)

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和5年6月(速報値)	43,142	72,786	42,436	5,283	16,271	24,224	12,248	41,637	6,488	264,515
令和4年6月(速報値)	53,521	88,738	44,394	5,718	15,285	18,574	8,639	34,025	3,796	272,690
前年同月比	80.6	82.0	95.6	92.4	106.5	130.4	141.8	122.4	170.9	97.0
令和元年6月(確報値)	48,562	81,860	52,271	7,915	24,179	24,069	12,327	43,202	4,964	299,349
令和元年同月比	88.8	88.9	81.2	66.7	67.3	100.6	99.4	96.4	130.7	88.4
令和5年5月(速報値)	40,433	83,217	54,470	8,589	25,939	30,359	15,956	54,318	7,171	320,452
前月比	106.7	87.5	77.9	61.5	62.7	79.8	76.8	76.7	90.5	82.5

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和5年6月(速報値)	30,962	2,604	8,124	8,512	1,981	3,818	3,052	59,053
令和4年6月(速報値)	110	19	8	7	5	544	493	1,186
前年同月比	28147.3	13705.3	101550.0	121600.0	39620.0	701.8	619.1	4979.2
令和元年6月(確報値)	31,292	5,939	7,111	10,608	439	2,849	1,861	60,099
令和元年同月比	98.9	43.8	114.2	80.2	451.3	134.0	164.0	98.3
令和5年5月(速報値)	27,251	1,829	8,867	7,773	3,518	1,935	2,974	54,147
前月比	113.6	142.4	91.6	109.5	56.3	197.3	102.6	109.1

【全体】

	合計
令和5年3月(速報値)	323,568
令和4年3月(速報値)	273,876
前年同月比	118.1
令和元年3月(確報値)	359,448
令和元年同月比	90.0
令和5年2月(速報値)	374,599
前月比	86.4

①調査対象施設は従業員数10人以上の全施設(189施設 令和5年1月時点)

②令和元年の数値については、上記①の施設数をもとに推計しています。

③発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

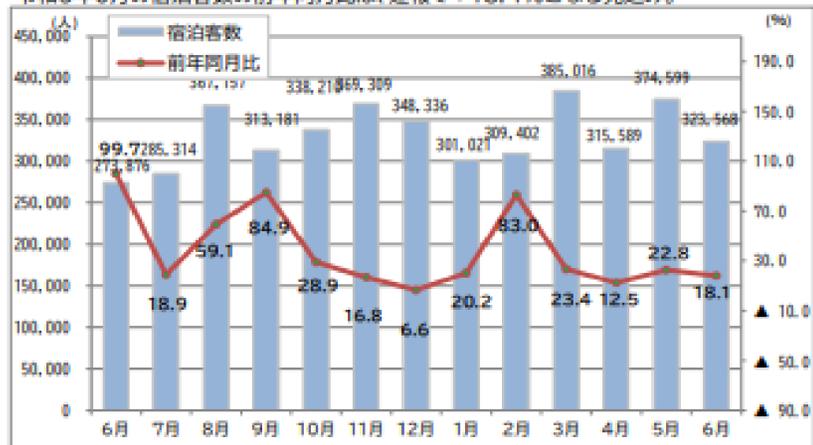
<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は、前月比82.5%、前年同月比97.0%、コロナ禍前の令和元年同月比は88.4%。大型連休のあった前年同月比は8割程度に留まったものの、全国旅行支援などの影響もあり前年同月比、コロナ禍前の令和元年同月比は近畿など遠方からの宿泊者は増加となった。
- ・国外の延べ宿泊者数は、令和4年10月以降水際対策の緩和や航空路線の再開などの影響で回復傾向にあり、前年同月比は4979.2%と大幅に増加。前月比109.1%、コロナ禍前の令和元年同月比も98.3%とほぼコロナ禍前の水準まで回復した。
- ・全体の延べ宿泊者数は、前月比86.4%、前年同月比118.1%、コロナ禍前の令和元年同月比は90.0%。国内客に加え、インバウンド客の急激な増加によりコロナ禍前の9割まで回復した。

令和5年6月の宿泊客等の動向 (令和4年5月～令和4年12月速報、令和5年6月速報)

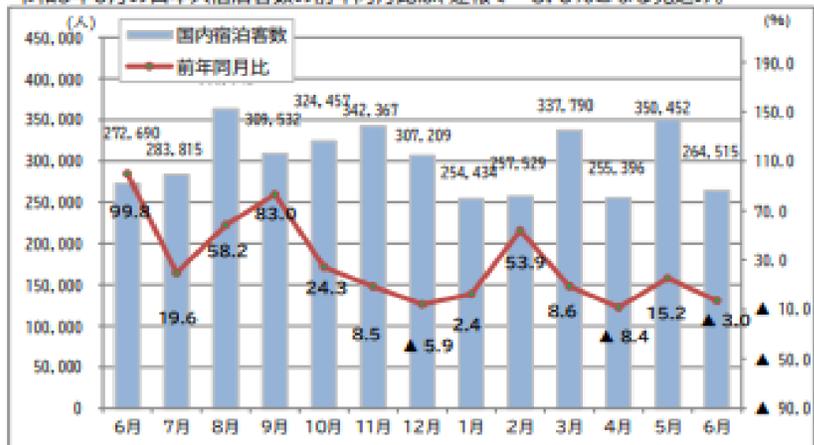
(1) 宿泊客の動向

令和5年6月の宿泊客数の前年同月比は、速報で+18.1%となる見込み。



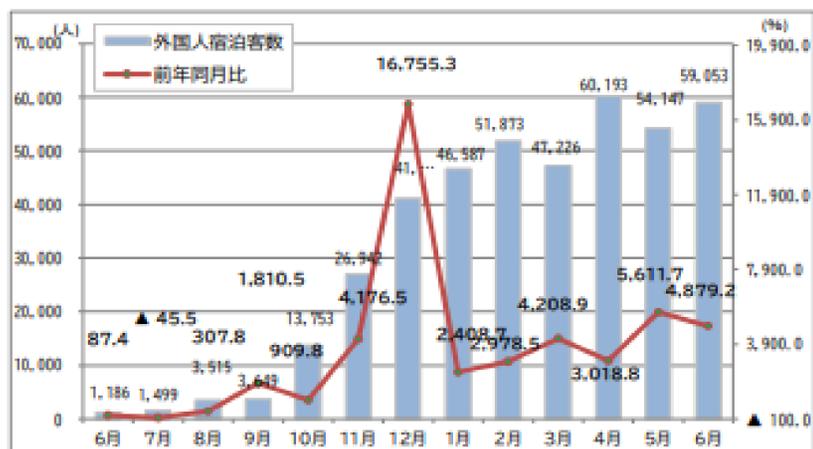
(1)-①日本人宿泊客の動向

令和5年6月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速報で-3.0%となる見込み。



(1)-②外国人宿泊客の動向

令和5年6月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速報で+4879.2%となる見込み。



(2) 有料観光施設(入場客)の動向

令和5年6月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速報で+45.7%となる見込み。

(調査対象施設29施設)

前年比 屋内施設+38.0% 屋外施設+50.0%



※観光施設の対前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・日本人宿泊客は令和4年度以降は季節的な増減はあるものの、新型コロナウイルスによる行動制限等もなかったことなどから大きな減少はなく推移している。
令和4年10月以降は、全国を対象とした旅行支援等の影響から九州外からの宿泊者を中心に増加傾向となった。
- ・外国人宿泊客は、令和4年6月より観光目的の入国が条件付きで解除された後徐々に戻りが見られ、10月には入国者数上限撤廃など更に水際対策が緩和されたこと等により急増しており、R5年6月の宿泊者数はコロナ禍前の令和元年同月とほぼ同水準となった。
- ・有料観光施設の入場者数は、令和5年6月は日本人宿泊客数は前年比減となっているものの外国人宿泊客の大幅な増加もあり、全体的には前年同月比145.7%と増加した。
- ・全体においては、入国制限の緩和や旅行支援の影響などからインバウンドを含め徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつある。